

【症例報告】

糖尿病性ケトアシドーシスに縦隔気腫を
合併した Hamman 症候群の一例

かき	ぼ	とし	あき	かね	つき	え	み	こ
垣	羽	寿	昭	金	築	絵	美	子
あら	かわ	り	な	やま	もと	く	み	
荒	川	里	菜	山	本	公	美	

キーワード：糖尿病性ケトアシドーシス，縦隔気腫，Hamman 症候群

要 旨

症例は19歳男性。既往歴に遺伝性球状赤血球症あり。X-8日に交通外傷により当院救急外来を受診，頭部および胸部打撲として鎮痛薬処方され帰宅。X-2日から胸部痛，過呼吸を生じるようになり，X日に当院救急外来を受診。随時血糖721 mg/dL，HbA1c 7.5%，尿ケトン体（3+），静脈血液ガス分析 pH 6.975， HCO_3^- 4.7 mmol/L，BE -25.6 mmol/Lで糖尿病性ケトアシドーシス（DKA）の診断で当科入院。胸部CTでは縦隔気腫を認めた。血中CPR 0.56 ng/mL，尿中CPR 24.8 $\mu\text{g/day}$ と内因性インスリン分泌は低下していたが，抗GAD抗体およびIA-2抗体は陰性であった。輸液，インスリン持続静注等の急性期治療を経て，インスリン頻回注射法により血糖コントロールは良好となった。縦隔気腫は安静により消失した。DKAと縦隔気腫の合併はHamman症候群と呼ばれ，同様の症例報告が散見される。今回，若年男性のHamman症候群の一例を経験したので報告する。

は じ め に

糖尿病性ケトアシドーシスでは，アシドーシスに伴う過換気，腹痛や嘔吐，意識障害など様々な症状を随伴することがあるが，稀に縦隔気腫を合併することがあり，その場合はHamman症候群として報告されている¹⁻²⁾。今回，我々は，若年男

性のHamman症候群の一例を経験したので，若干の文献的考察を加えて報告する。

症例：19歳，男性。

主訴：胸部痛，過呼吸。

現病歴：X-8日に交通外傷により当院救急外来を受診，頭部および胸部打撲として鎮痛薬を処方され帰宅となった。

X-2日から胸部痛，過呼吸を生じるようになり，X日に当院救急外来を受診した。交通外傷後に生じた胸部痛でもあったため，胸部CT検査

Toshiaki KAKIBA et al.

松江赤十字病院糖尿病・内分泌内科

連絡先：〒690-8506 松江市母衣町200

松江赤十字病院 糖尿病・内分泌内科